

令和2年芽室町議会定例会 1 2月定例会議一般質問

当日資料 1

令和2年12月15日再開

質問議員 氏名	質問項目	質問の内容・要旨	答弁を 求める者
立川美穂 (60分間)	1 女性の農業における活躍を推進する方策について	<p>農業は本町の基幹産業として重要な位置づけにあり、芽室町第5期総合計画において持続可能な農業の基盤整備とその支援を政策に掲げ、将来にわたる安定的な農業・農村づくりに取り組んでいます。</p> <p>今後、農業人口の減少が想定され、地域農業や農村の持続的な発展には、女性をはじめとする、幅広く多様な人材の確保と育成が必要です。</p> <p>国は男女共同参画基本法の理念に基づき、男女が社会の対等な構成員としてあらゆる活動に参画する機会の確保が重要とし、農業施策においても、女性が自らの意思で農業経営に関する活動に参画しやすい機会の確保と環境整備を推進しています。</p> <p>農業経営や農業に関わる政策の方針決定の場への女性の参画を促進し、女性がより働きやすく暮らしやすい環境整備を推進することが、農村地域や農業に多様な人材を呼び込み、本町の農業の持続的な発展にもつながると考えることから、以下について町長の見解を伺います。</p> <p>① 2015年に策定された第4次男女共同参画基本計画では、農業委員と農協役員の女性割合に成果目標が設定され、また2016年の農業委員会法及び農業協同組合法の改定等によって、女性が農業経営や農業政策の方針決定に参画しやすい取組みが推進されています。</p> <p>こうした国や社会の動向をかんがみ、本町においても女性が農業経営や農業に関わる政策の方針決定の場に参画できるようになるための研修や次世代リーダーとなれるような人材育成の場が必要と考えますが、町長の見解をうかがいます。</p> <p>② 家事、育児、介護など農作業以外での女性の労働負担が大きいことを課題とし、国はこれまで女性が働きやすく、暮らしやすい環境整備についてさまざまな対策を講じてきました。</p> <p>さらに、近年はICTを活用したスマート農業の普及等、技術革新による農作業の省力化が図られ、このことは農業に従事する女性をはじめとする多様な人材の働きやすさ、暮らしやすさを促進するものと考えます。</p> <p>しかしながら、機械化が進む一方で、国内では年間約300人の方々が農作業中の事故により亡くなっています。</p> <p>本町にとって重要な役割を担う農業者の生命を守るために、各関係機関と連携し農業機械の安全性向上の研究や安全管理の普及など、独自の取組みを進めることにより、より多様な人材が働きやすい環境が整い、本町農業の持続可能な発展につながると考えますが、見解を伺います。</p>	町長

質問議員 氏名	質問項目	質問の内容・要旨	答弁を 求める者
広瀬重雄 (70分間)	1 町の新型コロナウイルスの対策について	<p>本年1月に日本で初めてとなる新型コロナウイルスの感染者が確認されて以来10ヶ月以上が経過し、この間大きく3回に分かれて感染が拡大してきており、現在では第3波と言われる感染拡大期を迎えています。これまでに国及び各都道府県、そして芽室町においてもさまざまな対策を講じてきたと理解しますが、更なる感染拡大や長期化の懸念が予想される中、今後に向けて以下の点について町長の見解をお伺いします。</p> <p>① これまでの間、町としての新型コロナウイルスの対策は十分・妥当であったと認識されているのか見解をお伺いいたします。</p> <p>② 後の感染拡大の防止について、町内各公共施設の感染予防策の拡充は考えられているのか見解をお伺いいたします。</p> <p>③ 今後の感染予防対策及び経済支援等の対策として、企業・商店（特に飲食店関連）への支援等は考えられているのかお伺いします。</p> <p>④ 町として、感染予防対策及び必要な関連情報を提供し、町民の不安の解消や更なる感染予防策を徹底する必要があると考えるが見解をお伺いします。</p>	町長
	2 協働のまちづくりについて	<p>町長が就任され2年数か月が経過し、第5期芽室町総合計画も2年目を迎えている現在であります。第5期芽室町総合計画の基本構想5にある「住民と行政がともに考え未来へつなぐ自治のまちづくり」、実施計画にある「多くの町民が関わり参加する自治のまちづくり」について、計画の進捗と今後の取り組みについて以下の点について見解をお伺いします。</p> <p>① 住民参加が以前と比較してどの程度進んでいると考えられているか見解をお伺いします。</p> <p>② 第5期芽室町総合計画にも芽室町自治基本条例にも記載がある「町長」「町民」「議会」「職員」のそれぞれの情報の共有とまちづくりへの意識の共有が重要であると、町長から昨年答弁をいただいたが、前進してきていると考えられているのか見解をお伺いします。</p> <p>③ 町長・町民・議会・職員 それぞれの立場でのまちづくりは進められていると認識しているが、協働のまちづくりという観点から考えるとまだまだ発展途上であると感じています。特に住民と職員、住民と議会の関係は改善の余地があると考えますが、住民と職員相互の関係についての見解をお伺いします。</p>	町長

質問議員 氏名	質問項目	質問の内容・要旨	答弁を 求める者
渡辺洋一郎 (60分間)	1 自殺対策について	<p>日本の自殺者数は、ここ数年減少傾向が続いていましたが、本年7月以降4か月連続で増加しており、10月の自殺者数は2,153人で対前年同月比4割増、特に女性は8割増とかつてない増加を示しています。国の動向に比例して北海道でも同様の傾向で、十勝管内でも9月から顕著に増加しており、本町においても今後増加する懸念があります。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、失業などによる経済的困窮や在宅にいたることが増えたことによる家庭状況の変化など、生活上の悩みが深刻化していることが背景の一因にあるのではないかと考えます。自殺対策基本法により、自殺対策が生きるための包括的支援と位置付けられた今、本町における対策推進について以下の2点について伺います。</p> <p>① 本町におけるハイリスク者の早期発見・早期対応、職場や地域におけるメンタルヘルス対策、相談体制や情報発信、自殺対策に係る人材の確保・養成など、これまでどのような取り組みをしてきたのか経過と現状について伺います。</p> <p>② 自殺対策について今後町としてどのように取り組んでいくのか伺います。</p>	町長
	2 コロナ禍の防災対策について	<p>昨今、全国各地でこれまで想定されなかった自然災害が相次いで発生しています。同時に、新型コロナウイルス感染症の拡大が懸念される中、防災においても感染対策や避難のあり方等、見直しが必要となっています。地域防災計画の改定等、今後問題の解消に向けた取り組みは喫緊の課題であると考え、以下3点について伺います。</p> <p>① 災害告知用戸別端末の今後の整備と活用の考え方について伺います。</p> <p>② 避難所や避難体制における感染症対策について今後どのように取り組んでいくのか伺います。</p> <p>③ 町民の防災意識を高めるための啓発等、今後どのように取り組んでいくのか伺います。</p>	町長
鈴木健充 (50分間)	1 観光振興と新嵐山スカイパークの活用計画について	<p>第5期芽室町総合計画の中で、新嵐山スカイパーク（以下「新嵐山」という）の位置付けは「本町最大の観光地であり、芽室町の個性を体験でき、町民にとっても誇ることでできる魅力ある場づくりを進める」とあります。</p> <p>令和2年1月に活用計画を策定し、現在進められているところではありますが、町の観光の振興と、どのような関連を持つのか、また芽室町のさまざまな地域資源を活用した観光の振興は、推進されているのかなど、課題が見受けられることから、以下の3点について町長の見解を伺います。</p> <p>① 町の観光における地域資源には、農業をベースに食材の活用農業体験・食育などと、体験型観光資源としてサイクルツーリズム事業、芽室遺産や発祥の地であるゲートボールを活用した事業などがあります。それぞれが観光の振興に繋がっているのか見解を伺います。</p>	町長



## 令和2年芽室町議会定例会 12月定例会議一般質問

令和2年12月16日再開

質問議員 氏名	質問項目	質問の内容・要旨	答弁を 求める者
正村紀美子 (90分間)	1 民間活力導入で行政サービスはどのように向上するのか	<p>芽室町行政経営ポリシーにもとづき、令和2年5月に「芽室町民間活力活用方針」（以下「方針」という）が策定された。民間活力導入の具体的内容等について伺う。</p> <p>① 町はこれまでも各種計画や方針を策定し、業務委託や指定管理者制度など民間活力の活用を推進してきた。なぜ今「芽室町民間活力活用方針」を定めるのか、その背景と目的・効果について伺う。</p> <p>② 方針策定後どのような検討をし、今後どのようなスケジュールで進めようとしているのか。</p> <p>③ 方針の参考資料1には「現段階で民間活力活用の検討が想定されるもの」として具体的な業務が記載されている。どのような理由でこれらの業務が選定されたのか。また、その他の業務等についても検討を進めていくとあるがどのような基準に基づき選定されるのか。</p> <p>④ 民間活力導入は町民満足度を向上させるとあるが、どのようなメリットを想定しているのか。また偽装請負や個人情報の流出を懸念するが、安全安心な行政サービスをどのように提供しようとするのか。</p>	町長
	2 新嵐山スカイパーク活用計画はどのような点で変更されたのか	<p>新嵐山スカイパーク活用計画（以下「計画」という）変更の状況と今年度の新嵐山スキー場運営について町の見解を伺う。</p> <p>① 本年6月定例会議におけるわたしの一般質問の答弁では「長期的な対策も含めて計画を練り直すことも検討すべき」「財政面への影響を考えるとプランの内容やスケジュールも変更せざるを得ない」との答弁があった。計画はその後どのように変更されたのか。</p> <p>② メムロスキー場は冬期間における観光資源という位置づけだけでなく、生涯スポーツ施設としての側面もある。計画が策定され初めての冬シーズンとなるが、スキー場にどのような変化があるのか。</p> <p>③ 計画には宿舎やリフト等の施設等整備は町が負担するとあるが、中長期的な視点から投資を検討すべきと考える。一般会計からの支出について何らかの基準またはルールを設定するのか。</p> <p>④ 計画実現には施設等の整備だけでなく、新嵐山スカイパークにかかわる人や団体の理解と協力が必要不可欠である。町は計画実現に向け、こうした人や団体のかかわりを今後どのように強化していこうとするのか。</p>	町長

質問議員 氏名	質問項目	質問の内容・要旨	答弁を 求める者
	3 信頼される町であるために	<p>町政を取り巻くリスクは多岐に及んでいるが、とくに職員の不祥事や人為的ミスは町民や議会の信頼を失うことにもつながりかねない。信頼される町であるために以下の点について伺う。</p> <p>① 平成30年12月定例会議において同僚議員が適正な事務処理について一般質問しているが、町長はチェック体制や手法の整理、また業務量の見直しの必要性に言及されていた。その後どのような改善が行われてきたのか。</p> <p>② 町長は「情報と対話でともに考える住民自治のまち」を公約に掲げている。適切な情報公開・共有は建設的な議論を行うために欠かせないと思うが、これまでの姿勢をどのように評価されているのか。</p>	町長
中田智恵子 (45分間)	1 図書館のサービス向上に向けて  2 投票意識向上対策について	<p>本町では、町民一人ひとりの学習意欲が重要であり、「いつでも」「どこでも」「だれでも」が学ぶことのできる学習環境を整え、学びのきっかけづくりに取り組んでいます。特に図書館は、家庭、学校、地域など、それぞれの場に共通して生涯にわたる学習支援の役割を担い、多くの住民に利用され、ボランティアの活動の場にもなっています。ICTを活用した学習など子ども達や社会を取り巻く環境が変化する中、重要な社会教育機能を担う図書館運営における今後の役割とサービス向上について見解を伺います。</p> <p>平成15年不在者投票の改正により、期日前投票制度が創設されてから手続きが簡素化され、期日前投票は増加傾向にあるものの、選挙のたびに投票率の低下が全国的に取り沙汰され喫緊の課題となっていることは周知のとおりです。来年はコロナ禍の中、衆議院議員選挙が予定されておりますが、本町として投票意識向上のためこれまでどのように取り組みを行い、また、今度どのように取り組もうとしているのか、見解を伺います。</p>	教育委員会  選挙管理委員会
梶澤幸治 (40分間)	1 哺育育成事業における施設整備の進捗状況及び管理運営に向けての課題について	<p>芽室町は平成29年12月、本町の酪農振興及び持続的発展を目指し「芽室町酪農基盤整備構想」を策定しました。令和2年3月には、ふん尿処理計画について本構想からは削除され関係部分については改訂されていますが、哺育育成事業においては平成31年2月に「芽室町哺育育成施設整備基本計画」が策定され、令和3年度稼働に向けて着々と施設整備工事及び管理運営に係る協議がされていると思います。そこで次の4点について伺います。</p> <p>① 芽室町哺育育成施設整備工事工期については、令和3年3月31日とされているが現在の進捗状況はいかがか。</p> <p>② 現時点での利用予定は、22戸1,060頭と報告あるが、今後変更が生じる可能性はないか。</p> <p>③ 運営手法については、町とJAめむろが構成員となり新たに運営協議会を設立し、運営方針等を決定し規約に基づいて運営とされているが、現時点での協議進捗状況はいかがか。</p> <p>④ 令和3年5月からの受け入れとなるが、稼働にあたっての課題はないか。</p>	町長